

いぶりんピック

2月5日、山内公民館で恒例の「第14回いぶりんピック」が開催されました。今年も2部門行われ、天然素材で作る「いぶりがっこクラシカル部門」には16作品、漬物のもとを使うがっこや大根以外の燻製食品などで作る「いぶりフリースタイル部門」には7作品が出品されました。

クラシカル部門は「食味・香り・外観・歯ごたえ」の4項目で審査し、「金賞」「銀賞」「銅賞」を決定。フリースタイル部門は、「食べやすさ」を加えた5項目で審査されました。

各部門の受賞者は以下のとおりです。

- 【クラシカル部門】**
 金賞 中村 千佳子 さん
 銀賞 木村 よし子 さん
 銅賞 高橋 香代子 さん

【フリースタイル部門】
 最優秀賞 高橋 トシ さん
 優秀賞 木村 テイ子 さん



クラシカル部門受賞者



フリースタイル部門受賞者



コミュニティ生活圏形成事業

「横手市報告会」



今年度、山内地域は県からコミュニティ生活圏形成事業の指定を受け、モデル地区として活動を行っております。その活動内容を発表する場として、2月1日、平鹿生涯学習センターにて横手市報告会が開催されました。

第1部は「2020年代は田園回帰の時代」と題し、一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩氏が、条件が不利な地でも人口減少に歯止めをかけることができることについて、全国の先進地事例を交えながらの講演をしました。

第2部はワークショップ参加者を代表して永沢豊氏、松井美和氏が登壇し、山内地域の活動報告を行ったほか、パネルディスカッションに参加し、地域のあり方について意見を述べました。



約150人の来場者



講師の藤山浩氏



パネリストの松井氏、永沢氏